

串良



住民を前に即興で絵を披露。抽象的に描かれた『やねだん』の文字が読みとれるようになると、住民から大きな歓声が上がりました。



KUSHIRA
「やねだん」に芸術家がやってきた
「空き家」が「迎賓館」に変身！

串良町上小原の柳谷町内会が、空き家を整備して県内外の芸術家に住んでもらおうと進めていた計画で、1月10日、初めての入居者3人がやってきて、新生活をスタートさせました。

町内会の手で整備された空き家は「柳谷迎賓館」と呼ばれ、家賃は3万円。入居期間は3か月ごとに入居者本人の希望で決めますが、3か月ごとに個展を開くことが条件となっています。

この迎賓館の入居者となったのは、画家の石原啓行さん（京都市出身）と、大窪顕子さん（大阪市出身）、陶芸家の村久木孝志さん（鹿児島市出身）の3人。歓迎式が行われた1月10日、3人が迎賓館の前に姿を現すと、待ちかねた住民約50人が大きな拍手で歓迎。式では、同町内会の豊重哲郎会長が「防犯上の空き家対策も重要ですが、高齢化が進む柳谷に芸術家に住んでもらい、文化的な交流を通じて地域再生を図っていききたい」とあいさつし、「鹿屋や柳谷を世間にアピールして欲しい」と柳谷親善大使の認定状を手渡しました。

串良地区

串良町の岡崎下村づくり推進協議会、上小原校区子供育成会が実施しました。



上小原校区子供育成会

輝北地区

仮屋子ども会、竹下子ども会、一番郷・愛宕子ども会、むらづくり浦谷地区、下諏訪原地区が実施しました。



一番郷・愛宕子ども会

鹿屋 輝北 串良 吾平

鬼火たきで今年1年の無病息災を願う

新春の夜空を焦がす鬼火たきが市内の14地区で行われ、今年1年の無病息災などが祈願されました。鬼火たきは、モウソウ竹や間伐材で組み上げたやぐらを、正月を飾ったしめ縄や門松などと一緒に燃やす九州地方に伝わる伝統行事。竹の威勢よくはじけるパーン、パーンという大きな音が邪気を払い、その炎に暖まれば1年を健康に過ごせると言われています。

吾平地区

鶴峰西地区育成会、神野地区育成会、鶴峰東地区育成会、鶴峰中地区育成会が実施しました。



鶴峰西地区育成会

鹿屋地区

南町子ども育成会、高隈中央地区子ども育成会、郷之原親子会が実施しました。



郷之原親子会

串良

KUSHIRA
串良地区の
校区一周駅伝大会



1月21日、串良地区の3校区（串良・上小原・細山田）で、それぞれ校区一周駅伝大会が開催されました。

これは、体力の向上と同じ地区内に住む住民相互の親睦を図ろうと毎年開催されているもので、串良校区に6チーム、上小原校区に8チーム、細山田校区に9チームが参加。雨の降りしきる中、健脚を競い合う選手たちに、沿道から温かい声援が送られていました。

鹿屋

KANOYA
なわとびチャンピオン
大会を開催



1月14日、鹿屋市体育館で第15回なわとびチャンピオン大会（鹿屋ロータリークラブ主催）が開催されました。

大会には、市内の小学校11校から4・5・6年生の514人が参加。交差跳び、1回旋跳び、2回旋跳びで、跳び続けた時間の長さを男女別に競う個人戦や、長縄10人跳びで跳んだ回数を競う団体戦が行われ、子供たちは優勝を目指してリズムよく跳んでいました。

鹿屋

KANOYA
新たな気持ちで
けいこに汗！



1月13日、鹿屋市体育館で「けいこ始め式」（鹿屋市体育協会主催）が開催されました。

式には、同協会に加盟する30競技団体から約800人が参加。昨年活躍した2団体と12個人の表彰や野村昇会長の「昨年以上に活躍できるように皆さん練習に励んでください」というあいさつが行われた後、参加者はそれぞれの練習会場に移動して、新たな気持ちでけいこに汗を流していました。

吾平

AIRA
名物あいら木市祭を開催



1月13日・14日の2日間、吾平町麓の商店街約250mを歩行者天国にして第13回名物あいら木市祭（吾平商工会主催）が開催されました。

木市祭は、地域の活性化などを目的に開催されているもので、花き園芸農家など約100店舗が出店。ポンカンやキンカンなどの苗木をはじめ地元加工グループの加工品が販売され、2日間で約8,000人の買い物客が訪れました。

鹿屋

KANOYA
ベトナムでの活動を報告



1月12日、青年海外協力隊員としてベトナムで2年間の任務を終えた橋口智哉さん（萩塚町）が市役所へ帰国報告に訪れました。

橋口さんは、ベトナムの首都ハノイから約300km南のゲアン省で、母子保健に関する情報統計等に従事。「一番の苦勞は、仕事での言葉のやりとりでした」と振り返り、「これからも何らかの形でベトナムなど、国際社会に関わっていきたい」と抱負を話しました。

鹿屋

KANOYA
日本新記録を
記念して植樹



昨年カナダで開催された競泳のパンパシフィック選手権で日本新記録を樹立した柴田亜衣選手（800mフリーリレー、8分0秒65）と高桑健選手（200m個人メドレー、1分59秒81）の功績をたたえ、1月10日、鹿屋体育大学で記念植樹が行われました。

柴田選手はゲッケイジュ、高桑選手はアスナロを植樹。2人は「3月の世界選手権でも記録を更新したい」と抱負を話しました。

串良 串良の名物行事『二十三や市』を開催



同時開催された第1回二十三や市剣道串良大会



「バナナのたたき売り」が会場を沸かせました。



じっくりと見定めて苗を購入

1月27日・28日の2日間、串良総合支所周辺の約1kmの道路を歩行者天国にして、「二十三や市」(串良町商工会主催)が開催されました。「二十三や市」は、江戸時代後期に正月用品の物々交換の場として始まったもので約300年の歴史があります。植木や刃物、衣類などを販売する約300店舗がずらりと並んだ通りには朝早くから大勢の買い物客が訪れ品定めをしていました。



歩行者天国となった通りは、人・人・人。

鹿屋 大隅物流事業協同組合と立地協定



1月11日、鹿屋市役所で大隅物流事業協同組合と鹿屋市の立地協定調印式が行われました。

同組合は、輸送の効率化、高付加価値化等を図るため、市内の運輸事業者が平成9年に設立。今回、農畜産物の生産、加工、流通までを一貫して手がける農畜産物処理加工施設の建設に伴い市と立地協定を結びました。加工施設では、ウコンやゴーヤ、スイオウなどを健康補助食品として粉末処理するほか、大根、サツマイモ、里芋などの加工も行います。

当初は、従業員10人で操業しますが、将来的には30人程度の雇用を予定しており、地域経済の発展に大きく貢献することが期待されています。

輝北 合同七草祝いを開催



1月7日、輝北町の輝北コミュニティセンターで新春恒例の合同七草祝い(校区公民館主催)が開催されました。

この七草祝いは、今年、輝北地区の小学校へ入学する子供たちの健やかな成長を願い毎年行われているもので、華やかな衣装を身にまとった子供たち30人が参加。当日は、来賓や保護者が見守る中、記念品贈呈や絵本の読み聞かせ等が行われ、全員が元気にのびのびと成長してくれることを願いました。

鹿屋 就農開始資金を交付



1月31日、今年新たに農業経営を始めた園田輝久さん(今坂町)に就農開始資金が交付されました。

この資金は、新たに農業に参入する人を支援するために交付するもので、今回で3人目。ブロッコリーやキャベツなどの露地野菜を生産する園田さんは、「早く経営を安定させ、5年後10年後には先輩方に追いつけるように頑張りたい」と抱負を話し、決意を新たにしていました。

鹿屋 4月1日に大黒町内会が誕生



1月28日、下高隈町の大堀公民館で大堀町内会、仮屋町内会、黒坂町内会、吉ヶ別府町内会の4町内会による合併契約式が行われました。

4町内会では、少子高齢化や町内会会員の減少などが進んだことから、平成15年に大黒町内会合併協議会を設置。合併へ向けた協議を重ねてきました。

合併契約式では、関係者が見守る中、各町内会の会長が合併契約書に調印後、合併協議会の黒木次男会長が「地域住民が安心して暮らせるまちづくりを目指します」と力強くあいさつしました。

町内会の合併は、新市誕生後初めてのことで、4町内会は4月1日に合併して、新たに489世帯、1,189人の大黒町内会が誕生する予定です。

鹿屋 プロテスト合格を報告



1月29日、昨年行われた女子ゴルフのプロテストに合格した市来美和さん(寿八丁目)が、市役所を訪れ喜びを報告しました。

市来さんがゴルフを始めたのは中学3年生の時、以来、串良町のゴルフ練習場や滋賀県のゴルフ場で練習を積み重ねて、3回目の挑戦で見事プロテストに合格。「試合は予選からのスタートなので厳しいですが、努力!努力!で頑張ります」と抱負を話しました。

鹿屋 肝属チームが4連覇



1月28日、霧島市で開催された第20回記念鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会で、肝属チームが4連覇を果たしました。

同大会には、県内12地区の代表が出演。肝属チームは全6区間のうち4区間で区間賞をとり2位に1分以上の差をつけ優勝しました。また、同チームは、2月1日、市役所を表敬して喜びを報告。小城武治監督は「もっと強くなり、来年も勝ちたい」と抱負を話しました。

鹿屋 輝北 串良 吾平 葉たばこの種まき



1月24日、鹿児島県たばこ耕作組が、鹿屋・吾平、輝北、串良で葉たばこの種まきを行いました。

葉たばこの種は、非常に小さいため土と混ぜて均等にまかれます。まいてから15日ほどで発芽し、3月中旬に畑に定植。その後、5月下旬から7月末まで収穫が行われ、1週間程度乾燥されます。種まきに参加した生産農家は、豊作を祈りながら、心を込めてまいていました。